



株式会社島津製作所(東証プライム市場：証券コード7701)

2024年3月期 第1四半期決算説明会

取締役専務執行役員 CFO 渡邊明 | 2023年8月4日

01 決算概要

02 セグメント別業績

03 2023年度通期業績予想

1

売上高 : 主力の計測事業が牽引し、3期連続で過去最高を更新
営業利益 : 計測事業の重点機種が貢献し、過去最高を更新

2

計測 : 重点機種が伸長し売上高過去最高
医用 : 日本・北米で病院経営悪化による設備投資減少を受け減収減益
産業 : 油圧の増加、収益性改善などにより売上高・利益ともに過去最高
航空 : 防衛、民間航空機向けが共に増加し、大幅増収増益

3

計測重点機種 : 前年比 + 18%と2四半期連続で2桁増

注 : 計測重点機種 (LC : 液体クロマトグラフ、MS : 質量分析システム、GC : ガスクロマトグラフ) TMP : ターボ分子ポンプ

損益計算書

- 海外事業の拡大により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益 全て過去最高を更新
- 積極的な研究開発費や人的投資を進めた中で、採算性が改善し営業利益率向上

売上高
前年同期比：+106億円/+11%
1,092億円

営業利益
前年同期比：+38億円/+40%
132億円

営業利益率
前年同期比：+2.6pt
12.1%

当期純利益
前年同期比：+24億円/+28%
111億円

	単位：億円	第1四半期(4月-6月)		前年同期比	
		FY2022	FY2023	増減額	増減率
業績	売上高	986	1,092	+106	+11%
	営業利益	94	132	+38	+40%
	営業利益率	9.6%	12.1%	+2.6pt	
	経常利益	121	157	+36	+29%
	親会社株主に帰属する当期純利益	87	111	+24	+28%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	129.63	137.40	+7.77	+6%
	ユーロ(円)	138.17	149.50	+11.33	+8%
	研究開発費	42	50	+7	
	設備投資額	58	57	▲1	

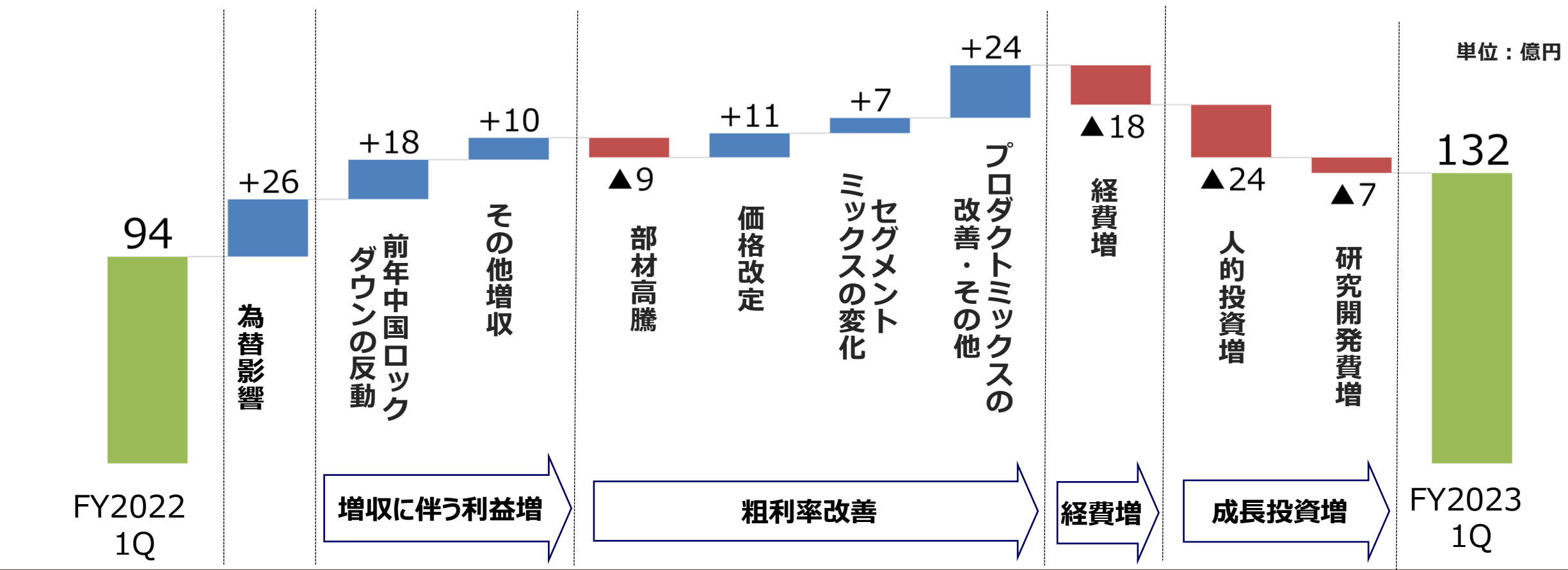
減価償却費
45億円

為替影響額
売上高：36億円
営業利益：26億円

棚卸未実現利益に対する
為替影響がプラスに作用

営業利益増減要因

- 増収に伴う利益増 : 計測・航空の増収に伴う粗利増や前年の中国ロックダウン反動増 **+28億円**
- 粗利率改善 : 部材価格高止まりを価格改定の推進、プロダクトMIX改善などで補う **+33億円**
- 経費増加 : 旅費交通費などが増加 **18億円 (利益押下げ)**
- 成長投資増加 : 研究開発費増、人的投資増などの成長投資増 **31億円 (利益押下げ)**



セグメント別損益

計測、産業、航空は増収増益。医用は減収減益

計測機器：増収増益

売上高：+96億円/+16%
営業利益：+25億円/+29%
営業利益率：15.2%

医用機器：減収減益

売上高：▲21億円/▲12%
営業利益：0億円/▲84%
営業利益率：0.3%

産業機器：増収増益

売上高：+1億円/+1%
営業利益：+6億円/+50%
営業利益率：13.2%

航空機器：増収増益

売上高：+14億円/+30%
営業利益：+5億円/+5倍
営業利益率：9.5%

売上高:重点機種がヘルスケア・グリーン
領域、アカデミア分野で増加
前年の中国ロックダウン反動増
営業利益:増収効果や採算性の改善等
により増益

売上高:医療機関の投資抑制や
前年の大口案件の反動減
営業利益:減収に伴う利益減

売上高:TMPはSPE向けが減少した
が、油圧は増加
営業利益:プロダクトMIX改善など
により過去最高を更新

売上高:防衛・民間航空ともに増収
営業利益:増収効果に加え、収益性
も改善し大幅増益

単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2022	FY2023	前年同期比		FY2022	FY2023	前年同期比		FY2022	FY2023	前年同期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	618	714	+96	+16%	84	108	+25	+29%	13.5%	15.2%	+1.6pt
医用機器	164	144	▲21	▲12%	2	0	▲2	▲84%	1.5%	0.3%	▲1.2pt
産業機器	146	147	+1	+1%	13	19	+6	+50%	8.9%	13.2%	+4.3pt
航空機器	48	62	+14	+30%	1	6	+5	+415%	2.4%	9.5%	+7.1pt
その他	10	25	+15	+151%	▲1	2	+2	-	▲3.4%	5.7%	+9.1pt
調整額	-	-	-	-	▲5	▲3	-	-	-	-	-
合計	986	1,092	+106	+11%	94	132	+38	+40%	9.6%	12.1%	+2.6pt

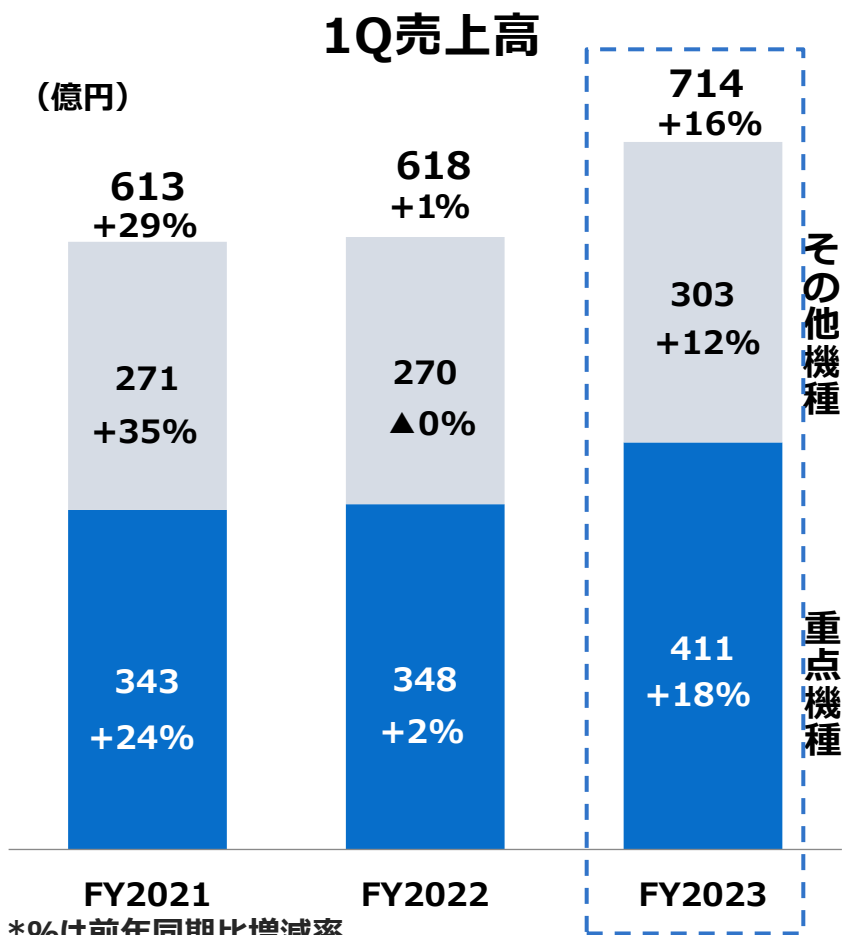
01 決算概要

02 セグメント別業績

03 2023年度通期業績予想

計測機器/機種別売上高・リカーリング比率

- 重点機種：LC、MSはヘルスケア領域、アカデミア分野、GCはグリーン領域で増加し18%増収。1Q売上高過去最高更新
- その他機種：中国で政府支援策により、アカデミア分野で複数の機種が増加
- リカーリング：新型コロナウイルス検査PCR試薬減をSDC*の試薬販売増で補う



重点機種

- 液体クロマトグラフ Nexera XS Inert (NEW)
- 液体クロマトグラフ 質量分析システム LCMS-2050 (NEW)
- 液体クロマトグラフ 質量分析システム LCMS-9050(Q-TOF型) (NEW)
- 液体クロマトグラフ 質量分析システム LCMS-8060NX
- ガスクロマトグラフ GC-2030

重点機種売上高

前年同期比 +62億円/ +18%

411億円

- LCは医薬・アカデミア分野で増加
- MSはアカデミア分野で増加
- GCはグリーン領域で増加

その他機種売上高

前年同期比 +33億円/ +12%

303億円

- 中国アカデミア向けに複数の機種が増加
- リチウムイオン電池検査などで非破壊検査が増加

その他機種

- 赤外分光光度計 (NEW)
- 卓上X線CTシステム (NEW)
- エネルギー分散型蛍光X線分析装置 (NEW)

リカーリング比率

前年同期比 +0pt (売上高+35億円)

39%

- PCR試薬減をSDCの試薬販売増で補う
- 保守サービスが増加

計測機器/地域別売上高

- ・ 日本：医薬分野でLCが増加。グリーン領域でGC、非破壊検査装置等が増加
- ・ 海外：重点機種がヘルスケア領域、グリーン領域で増加。中国が前年ロックダウンの反動で大幅増

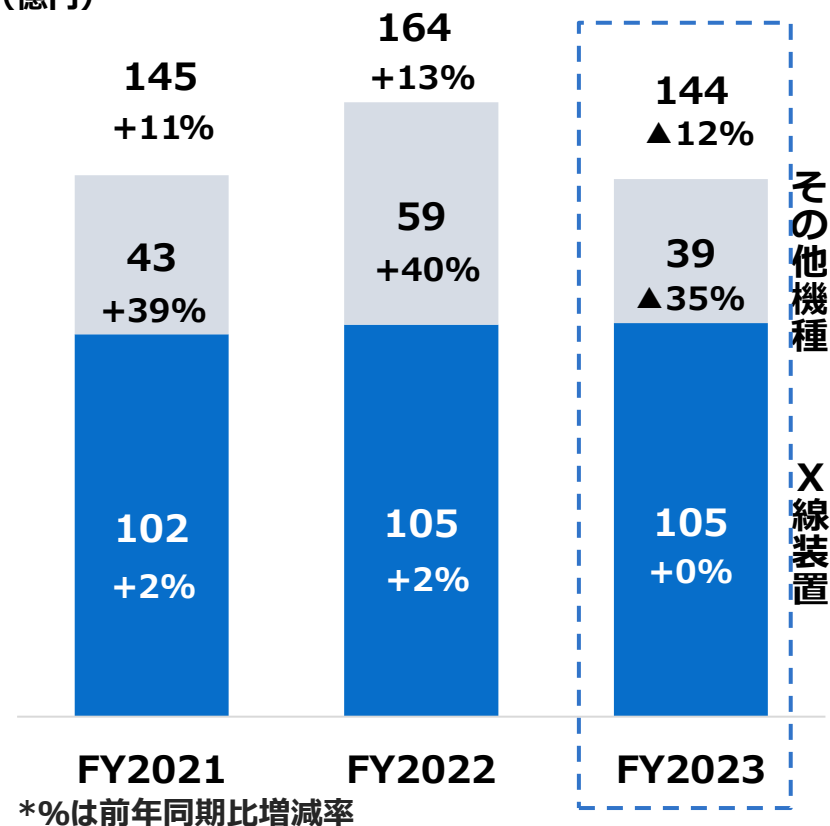
単位 億円	FY2022	FY2023	前年同期比		概況
			増減額	増減率	
日本	209	221	+11	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬分野にLC、グリーン領域（水素、リチウム電池）でGC、非破壊検査装置等が増加 ・ SDC連結効果（前年下期から連結） ・ 新型コロナウイルス感染者の減によりPCR試薬、検査装置が大幅に減少
海外	408	493	+84	+21%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外売上高比率は3pt増の69%
北米	71	72	+1	+1%	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン領域でMS、GCが増加 ・ 中小製薬の設備投資減によりLCが減少 ・ 一部の大手顧客向けにMALDIが減少
欧州	71	85	+14	+20%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬分野でLC、MSが増加 ・ グリーン領域でGCが増加
中国	145	191	+46	+31%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府支援策により、アカデミア分野で重点機種含め複数の機種が増加 ・ 前年ロックダウン影響の反動増
その他の アジア	89	102	+13	+15%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の自国生産強化によりインドでLCやMSが増加 ・ 医薬品規制強化により、東南アジアでMSが増加

医用機器/機種別売上高・リカーリング比率

- ・X線装置 : 撮影装置の減少を、X線TVシステム・血管撮影システム増が補い、横ばい
- ・その他機種 : 放射線治療用動体追跡システムの大口案件の反動減等で、35%減収

1Q売上高

(億円)



X線装置



その他機種



X線装置売上高

前年同期比 +0億円/ +0%
105億円

- ・ X線TVシステム: 日本・中国で新製品が貢献
- ・ 血管撮影システム: AIによる画像処理技術を搭載した新製品が増加
- ・ 撮影装置: 回診車などが減少

その他機種売上高

前年同期比 ▲21億円/ ▲35%
39億円

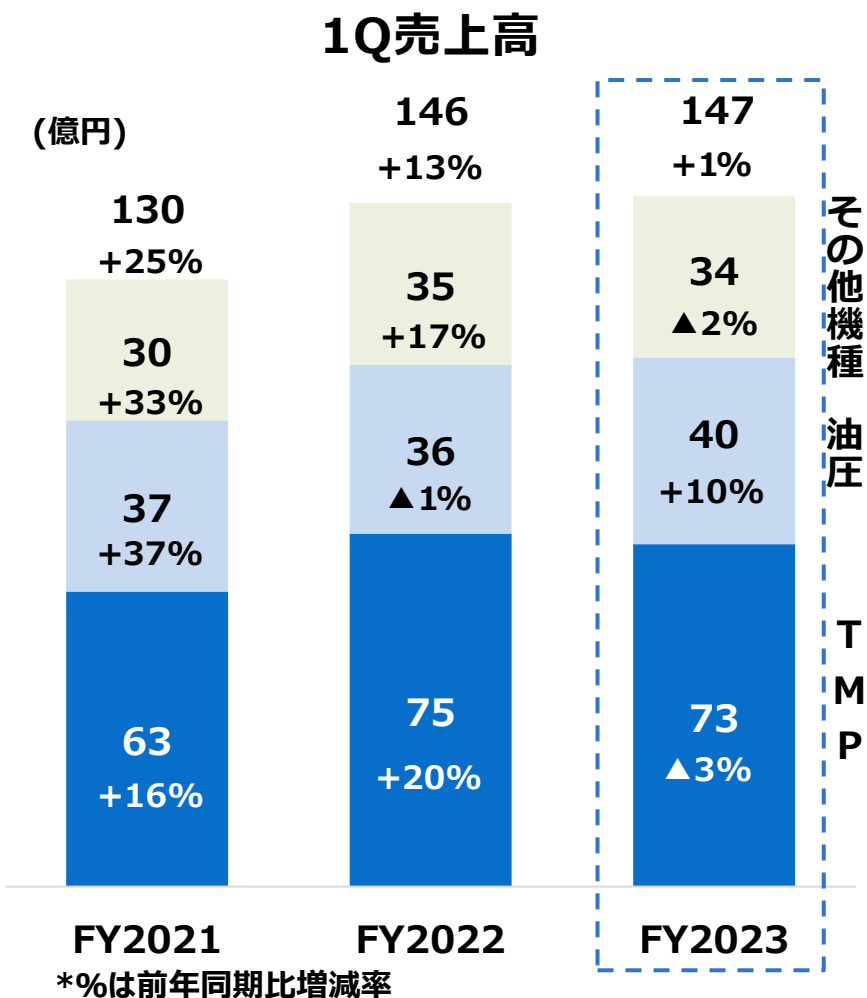
- ・ 前年の放射線治療用動体追跡システムの大口案件の反動減

リカーリング比率

前年同期比+5pt (売上高▲0億円)
42%

産業機器 / 機種別売上高・TMPリカーリング比率

- ・TMP：SPE向けは減少したが、グリーン関連向け（建材ガラス・太陽電池薄膜用途）が大幅に増加
- ・油圧：国内でフォークリフト・小型建機・特装車両向けが増加し10%増収



ターボ分子ポンプ (TMP)

電源一体型 電源別置き型

油圧機器

ギヤポンプ コントロールバルブ

その他

工業炉 リークディテクタ
ガラスワインダ バランサー

TMP売上高

前年同期比▲2億円/▲3%

73億円

- ・グリーン関連として建材ガラス・薄膜太陽電池製造装置向けが大幅に増加、SPE向け減少

油圧機器売上高

前年同期比 +4億円/ +10%

40億円

- ・主に国内でフォークリフト、小型建機向けに増収

その他機種売上高

前年同期比 ▲1億円/ ▲2%

34億円

- ・EV用セラミックス向けで工業炉が増加したもののガラスワインダが減少

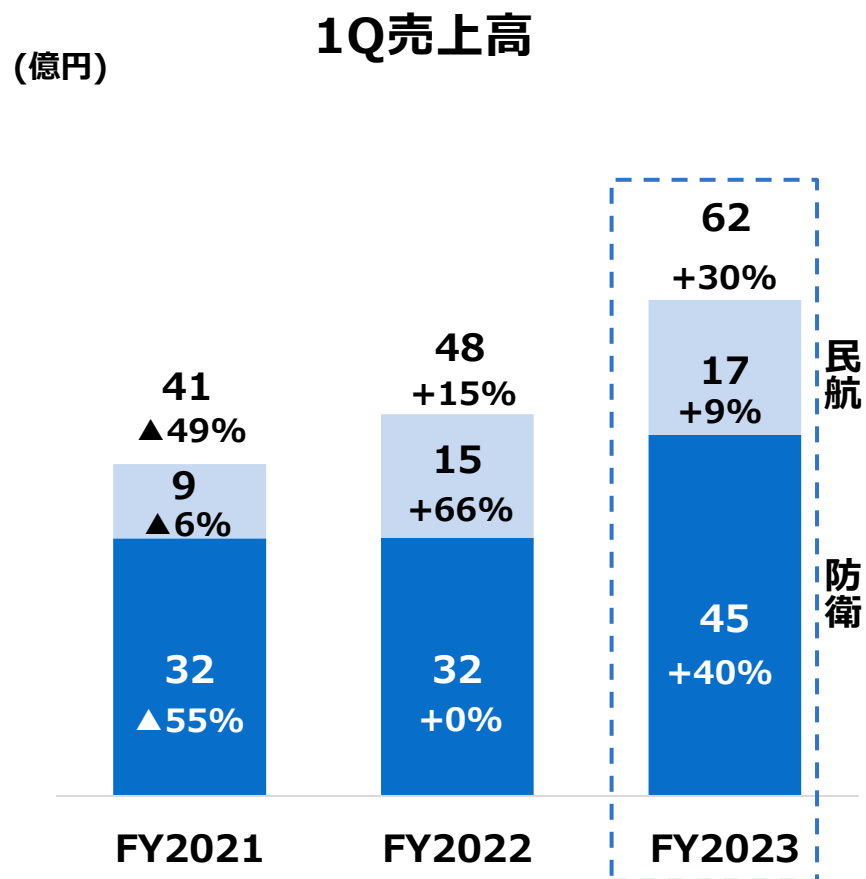
TMPリカーリング比率

前年同期比▲0pt（売上高▲1億円）

15%

航空機器/分野別売上高

- ・防衛分野は、売上平準化の取組などにより搭載品が増加
- ・航空旅客数の回復に伴う、民間航空旅客機向け売上高増加



*%は前年同季比増減率



防衛分野売上高
前年同期比 +13億円/ +40%
45億円

- ・売上平準化の取組を推進



民間航空機分野売上高
前年同期比 +1億円/ +9%
17億円

- ・旅客需要が回復し、航空機増産に伴い、搭載機器が増加

01 決算概要

02 セグメント別業績

03 **2023年度通期業績予想**

2023年度通期業績予想

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

・期初予想から変更なし。4期連続で過去最高更新を目指す

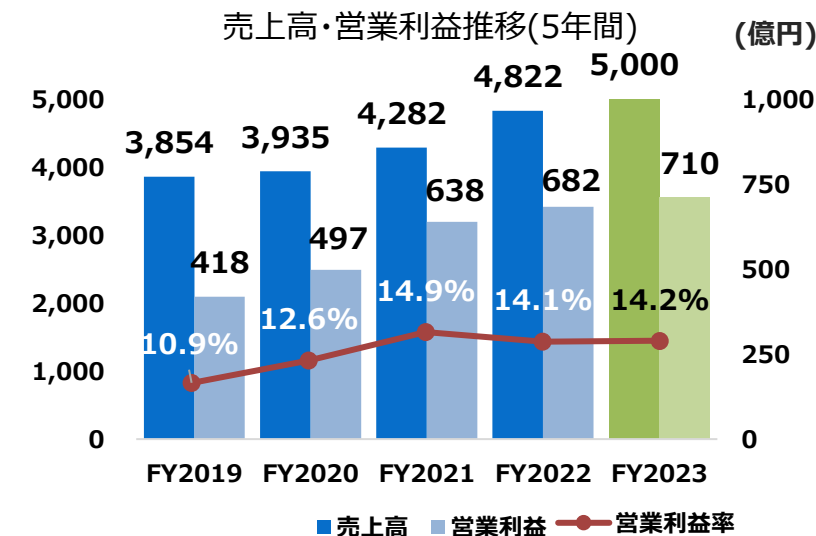
売上高
前期比：+178億円/ +4%
5,000億円

営業利益
前期比：+28億円/ +4%
710億円

営業利益率
前期比：+0.1pt
14.2%

当期純利益
前年同期比：+10億円/+2%
530億円

	単位：億円	通期		前期比	
		FY2022	FY2023 予想	増減額	増減率
業績	売上高	4,822	5,000	+178	+4%
	営業利益	682	710	+28	+4%
	営業利益率	14.1%	14.2%	+0.1pt	
	経常利益	709	710	+1	+0%
	親会社株主に帰属する当期純利益	520	530	+10	+2%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	135.51	130.00	▲5.51	▲4%
	ユーロ(円)	141.02	140.00	▲1.02	▲1%
	研究開発費	190	220	+30	
	設備投資額	225	250	+25	



減価償却費
180億円

為替感応度

	米ドル	ユーロ
売上高	15億円	3億円
営業利益	5億円	1億円

2023年度通期セグメント別業績予想

・主要4セグメントで増収増益。主力の計測は4期連続で過去最高更新を計画

計測機器：増収増益

売上高 : +3%
営業利益 : +4%
営業利益率 : +0.2pt

医用機器：増収増益

売上高 : +1%
営業利益 : +1%
営業利益率 : 横ばい

産業機器：増収増益

売上高 : +3%
営業利益 : +14%
営業利益率 : +0.9pt

航空機器：増収増益

売上高 : +17%
営業利益 : +22%
営業利益率 : +0.3pt

- 重点機種が、ヘルスケア領域、グリーン領域で増加
- リカーリング事業の強化

- 動画撮影可能な回診車、X線TV、血管撮影システムの新製品拡販
- リカーリング事業の強化

- TMPはコーティング市場向け増加やサービス拡大
- 工業炉はセラミックス向け増加
- 油圧は静音ポンプ[®]拡販

- 民間航空は回復が継続
- 防衛は、防衛予算増などにより増加

単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2022	FY2023 予想	前期比		FY2022	FY2023 予想	前期比		FY2022	FY2023 予想	前期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	3,147	3,250	+103	+3%	576	600	+24	+4%	18.3%	18.5%	+0.2pt
医用機器	759	770	+11	+1%	55	56	+1	+1%	7.3%	7.3%	▲0.0pt
産業機器	630	650	+20	+3%	54	62	+8	+14%	8.6%	9.5%	+0.9pt
航空機器	240	280	+40	+17%	14	17	+3	+22%	5.8%	6.1%	+0.3pt
その他	47	50	+3	+6%	6	5	▲1	▲16%	8.4%	6.7%	▲1.7pt
調整額	-	-	-	-	▲23	▲30	▲7	-	-	-	-
合計	4,822	5,000	+178	+4%	682	710	+28	+4%	14.1%	14.2%	+0.1pt



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

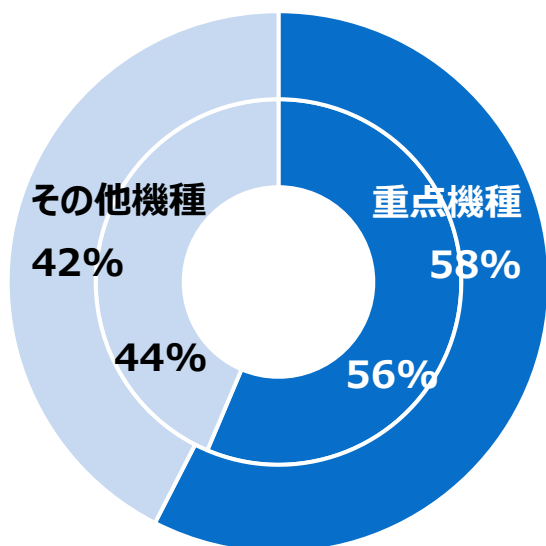
お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

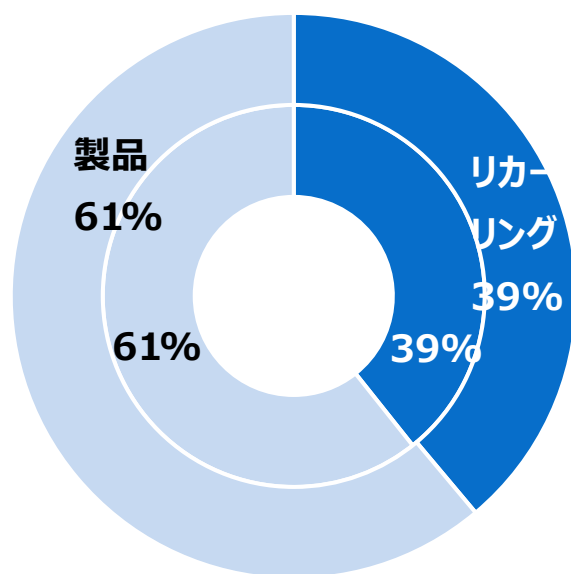
計測機器/各種売上高構成比率 (1Q)

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

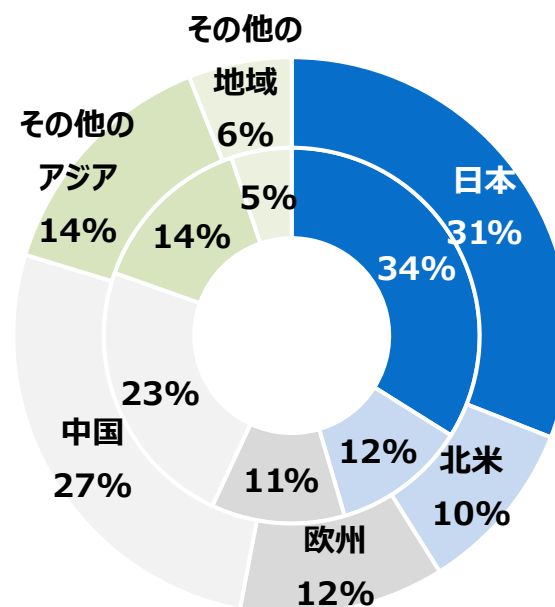
機種別



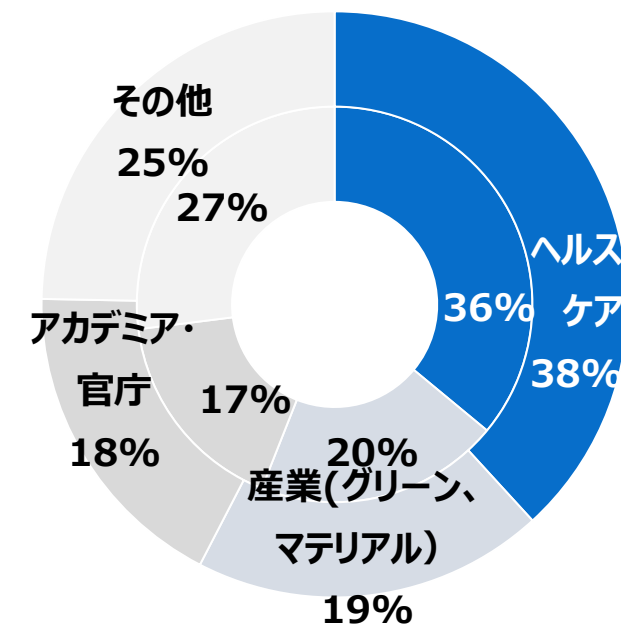
リカーリング比率



地域別



市場別



※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

計測機器/重点機種売上高前年同期比

- ・重点機種：ヘルスケア領域、グリーン領域、アカデミア分野を中心に増加
- ・その他機種：中国で政府支援によりアカデミア分野が増加

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
重点機種	+24%	+10%	+10%	+3%	+11%	+2%	+14%	+9%	+25%	+13%	+18%
全体	+29%	+12%	+9%	+4%	+12%	+1%	+15%	+15%	+20%	+13%	+16%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
重点機種	+20%	+7%	+4%	▲3%	+6%	▲9%	▲2%	▲5%	+14%	▲0%	+12%
全体	+25%	+9%	+4%	▲0%	+8%	▲8%	+3%	+3%	+13%	+3%	+11%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器/地域別売上高前年同期比

- ・日本：医薬を中心にLCが増加。PCR試薬減をSDCの試薬増加が補う
- ・海外：中国が前年のロックダウンの反動増で大幅増。欧州、その他のアジアは重点機種を中心に増加

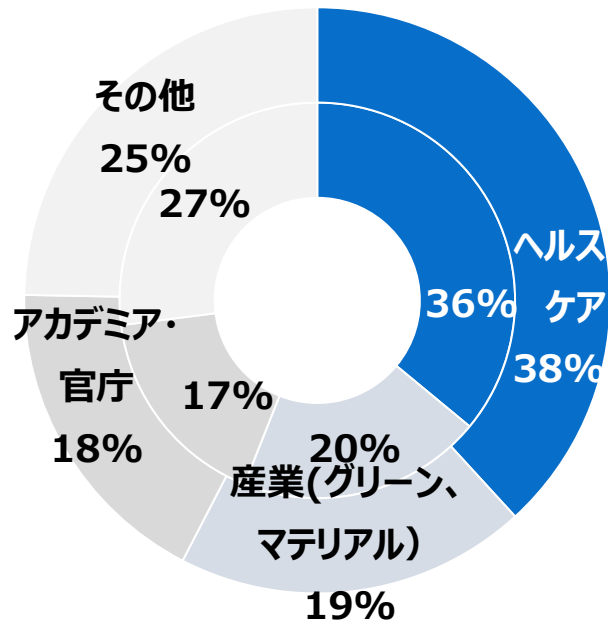
為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%
北米	+35%	+12%	+2%	+9%	+13%	▲2%	+12%	+20%	+22%	+13%	+1%
欧州	+28%	+17%	+9%	▲2%	+11%	+13%	▲1%	+18%	+28%	+14%	+20%
中国	+24%	+9%	+9%	▲2%	+10%	▲14%	+36%	+6%	+49%	+17%	+31%
その他のアジア	+27%	+10%	+18%	+14%	+17%	+37%	+25%	+24%	+18%	+25%	+15%
インド	+4%	+3%	+4%	+12%	+6%	+50%	+22%	+26%	+8%	+23%	+27%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%
北米	+31%	+7%	▲7%	+0%	+7%	▲16%	▲9%	▲3%	+6%	▲5%	▲4%
欧州	+15%	+11%	+4%	▲4%	+5%	+8%	▲8%	+7%	+19%	+6%	+11%
中国	+22%	+5%	▲0%	▲12%	+4%	▲28%	+9%	▲14%	+31%	▲3%	+24%
その他のアジア	+22%	+6%	+10%	+6%	+10%	+20%	+4%	+4%	+6%	+8%	+10%
インド	+2%	▲0%	▲3%	+3%	+0%	+27%	▲2%	+2%	▲6%	+2%	+20%

※インドはその他のアジアの内数

計測機器/市場別売上高比率（1Q）

市場別売上構成比

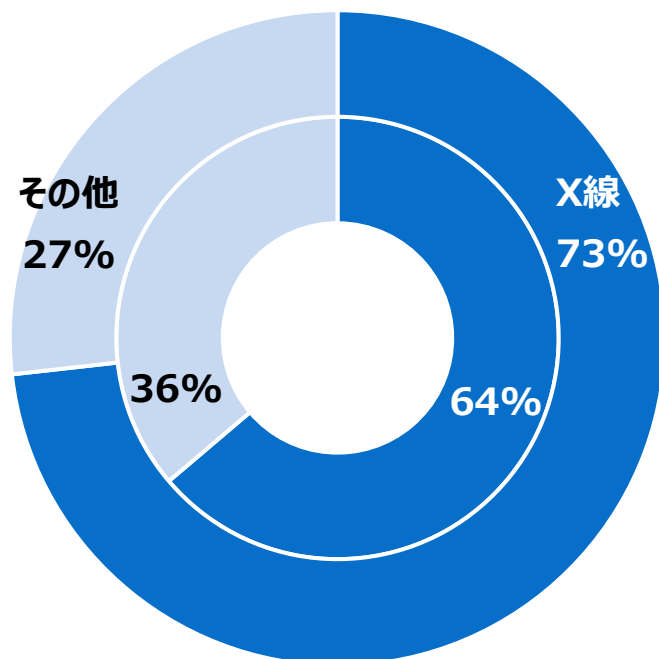


市場と主な業界	構成比		売上高 前年同期比	概況
	FY2022	FY2023		
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	36%	38%	+24%	・日本、欧州、その他のアジアで医薬向け増加 ・北米は医薬の設備投資減 ・中国は前年ロックダウンの反動増
産業 (グリーン、マテリアル) ●化学・素材 ●電機 ●自動車	20%	19%	+15%	・グローバルでグリーン領域向け（水素・EV等）が増加 ・中国は前年ロックダウンの反動増
アカデミア・官庁	17%	18%	+20%	・中国で政府支援によりアカデミア向けが大幅増

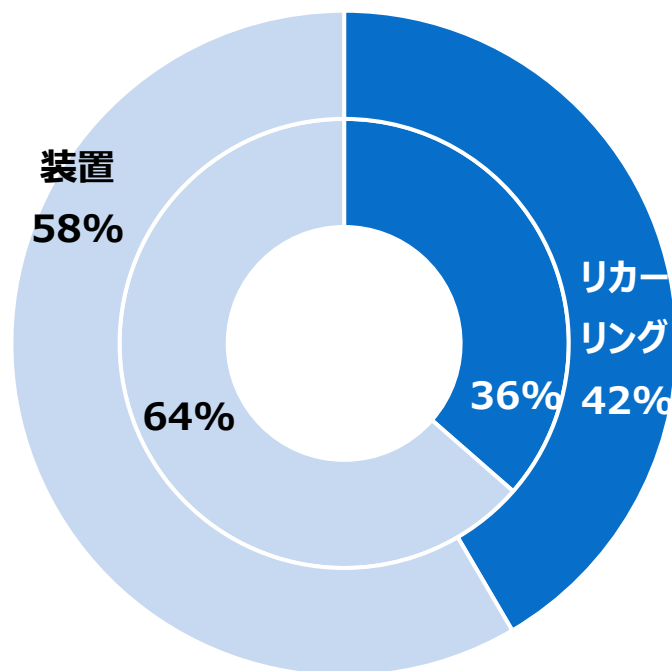
※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

医用機器/各種売上高構成比率 (1Q)

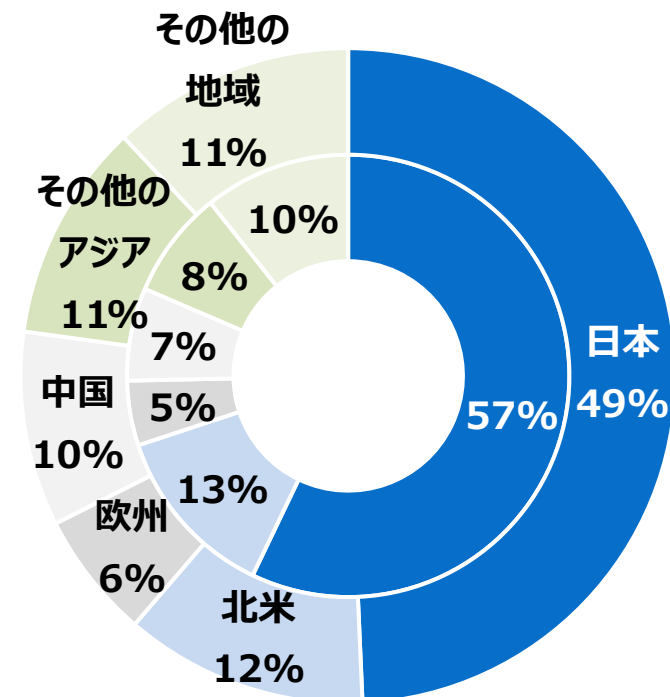
機種別



リカーリング比率



地域別



※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

医用機器/地域別売上高（1Q）

単位 億円	FY2022	FY2023	前年同期比		概況
			増減額	増減率	
日本	94	71	▲23	▲24%	<ul style="list-style-type: none"> ・X線TVシステムや血管撮影システムの新製品が増加 ・前年の放射線治療用追跡システムの反動減 ・物価上昇等による病院経営の悪化で医療機関の投資が抑制
海外	70	73	+2	+3%	<ul style="list-style-type: none"> ・海外売上高比率は、51%と前年同期比8pt増加
北米	21	17	▲4	▲18%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で低迷していた外科手術件数が回復し、血管撮影システムが増加 ・物価上昇等による病院経営の悪化で医療機関の投資が抑制
欧州	8	9	+1	+16%	<ul style="list-style-type: none"> ・東欧向けに血管撮影システムが増加
中国	11	14	+3	+24%	<ul style="list-style-type: none"> ・中国市場向けに現地生産している新製品のX線TVシステムが増加
その他の アジア	13	16	+3	+20%	<ul style="list-style-type: none"> ・インドで血管撮影システムが増加

医用機器/地域別売上高前年同期比

- ・日本：前年の放射線治療装置の反動減
- ・海外：中国はX線TV、欧州・その他のアジアは血管撮影システムが増加

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%
北米	+3%	▲16%	+11%	+14%	+2%	+4%	+52%	+21%	+28%	+26%	▲18%
欧州	▲13%	▲39%	▲33%	▲12%	▲27%	+5%	+61%	+2%	+33%	+22%	+16%
中国	▲25%	+3%	▲11%	▲10%	▲11%	+12%	▲12%	+5%	+23%	+6%	+24%
その他のアジア	+16%	+7%	+26%	▲22%	+4%	+10%	+16%	+7%	+19%	+13%	+20%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%
北米	+2%	▲19%	+2%	+5%	▲3%	▲12%	+22%	▲3%	+11%	+5%	▲23%
欧州	▲21%	▲42%	▲36%	▲14%	▲31%	+0%	+50%	▲8%	+22%	+13%	+7%
中国	▲27%	▲1%	▲18%	▲18%	▲16%	▲6%	▲30%	▲16%	+7%	▲12%	+17%
その他のアジア	+15%	+5%	+18%	▲28%	▲0%	▲2%	▲4%	▲11%	+7%	▲3%	+14%

産業機器/機種別売上高前年同期比

- TMP** : SPE向け減少、グリーン関連向け（建材ガラス・太陽電池薄膜用途）が増加
油圧 : 産業車両、小型建機が牽引
その他機種 : 工業炉がEV用セラミック向けに増加したものの、ガラスワインダが減少

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
TMP	+16%	+38%	+50%	+27%	+32%	+20%	+22%	+9%	+1%	+12%	▲3%
油圧	+37%	+37%	+21%	+5%	+24%	▲1%	+1%	+3%	+10%	+3%	+10%
その他	+33%	+32%	▲3%	+18%	+17%	+17%	+12%	+11%	+24%	+16%	▲2%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
TMP	+13%	+35%	+44%	+22%	+28%	+11%	+11%	▲1%	▲6%	+3%	▲7%
油圧	+34%	+34%	+18%	+3%	+21%	▲6%	▲4%	▲2%	+7%	▲1%	+9%
その他	+32%	+30%	▲6%	+14%	+15%	+7%	+1%	+2%	+17%	+7%	▲4%

リカーリング比率

計測：新型コロナウイルス検査PCR試薬は減少したものの、SDCの試薬が増加。保守サービスも増加

医用：サービスは増加したものの部品が減少

TMP：SPEの稼働率低下により売上減少。リカーリング比率は横ばい

計測	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
リカーリング売上高 前年同期比	+33%	+16%	+4%	+6%	+13%	▲6%	+5%	+21%	+11%	+10%	+10%
リカーリング比率	38%	35%	35%	35%	36%	39%	36%	40%	33%	37%	39%

医用	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
リカーリング売上高 前年同期比	+14%	+9%	+2%	+1%	+6%	▲2%	+3%	+0%	+3%	+3%	▲3%
リカーリング比率	38%	35%	39%	32%	36%	36%	32%	39%	30%	34%	42%

TMP	FY2021					FY2022					FY2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
リカーリング売上高 前年同期比	+18%	+11%	+15%	+5%	+12%	▲1%	▲6%	+4%	▲17%	▲4%	▲9%
リカーリング比率	17%	17%	15%	15%	16%	15%	14%	16%	13%	15%	15%

※為替影響を除外